

平成 30 年度 第 3 回十和田市外部評価委員会（記録簿）

日 時：平成 30 年 9 月 26 日（水）10：00～10：38

場 所：十和田市役所 本館 2 階 議会会議室

出席者：十和田市外部評価委員会委員 12 名

（高井委員長、山端副委員長、升澤委員、佐々木委員、小林委員、櫻田委員、
前田委員、鈴木委員、丸山委員、原委員、坂本委員、工藤委員）

事務局：中野企画財政部長、漆館課長、小川課長補佐、中野渡係長、畑山主査、馬場
主事、洞内主事

1. 開会

事務局 それでは、ただいまから、第3回十和田市外部評価委員会を開催いたします。

2. 委員長あいさつ

事務局 はじめに、十和田市外部評価委員会 委員長 高井様よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 委員の皆様におかれましては、事業評価シートをご提出いただきまして誠にありがとうございました。

本日は、皆様から提出していただきました評価内容を最終確認していただきたいと思っております。

皆様のご忌憚のないご意見をいただきながら進めて参りたいと思っておりますので、協力をよろしくお願いいたします。

簡単ではございますけれども、開催のあいさつとさせていただきます。

それでは、事務局お願いいたします。

3. 案件 外部評価対象事業の最終評価

事務局 ありがとうございます。

それでは議事の進行につきましては、高井委員長をお願いいたします。

委員長 それでは、次第に従いまして進行させていただきます。

本日の案件は、外部評価対象事業の最終評価です。

事務局から、本日の会議の進め方についてご説明をお願いいたします。

事務局	<p>それでは、本日の会議の進め方についてご説明いたします。</p> <p>本日は、事前に皆様に配布しております「事業評価集計表」をもとにし、事業ごとにご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>「事業評価集計表」は、委員の皆様事前にいただいた評価や、ご提言を事業ごとに集約したものとなっております。</p> <p>はじめに事務局から、各事業の評価結果の概要をお伝えし、その後5分程度で意見交換をしていただきます。</p> <p>そのなかで、評価内容の変更の有無等をご確認いただき、必要に応じて文言の追加、削除をお願いいたします。</p> <p>最終的には委員会として、事業の方向性を一本化するのではなく、様々なご意見を記載する形での評価としたいと考えております。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ただ今の事務局からの説明について、何かご質問はありますか。よろしければ早速、お手元にあります事業評価集計表の順に従いまして、事業ごとに意見交換を行っていきたく思ひます。</p> <p style="text-align: center;">全8事業について事務局から概要説明後、委員による意見交換</p>
	【意見があつた事業】
委員長	<p>⑥「公園施設の整備」については、これまでの事業と少し違ひまして、むしろ少し精査をなささいということだと思ひますけど、こういう場合はどうなりますか。</p>
事務局	<p>ご意見いただきました部分につきましては、当然、予算も含めてどのような形で反映させていくかということになりますので、評価いただいた部分についてこれから見直しを進めていくということになります。</p>
委員長	<p>⑧「ふるさと納税」については、先日総務省の方から、ありましたよね。</p>
事務局	<p>地域に特化した返礼品に見直し、地域をPRする事業に方向転換していきましようという話になっております。</p>
委員長	<p>十和田市のふるさと納税の内容は、それに沿つた形で行つているということですね。</p>
企画財政部長	<p>はい、総務省の運用どおりです。</p>
委員長	<p>それでは、委員の皆様からお一人ずつ何か気になつた点など、全体を通して何かコメントをお願いします。</p>
升澤委員	<p>8項目の中には、私が選んでいないものも入つていますが、それぞれ皆さん思ひや立場があると思ひるので、1つひとつの課題についての評価が分かれて当然だと思ひます。ただ、それを市側がどのように消化して実行していくかが大事です。</p>
佐々木委員	<p>どこの市町村でも同じようなことをやつているところがあるので、ぜひ十和田市ならではの魅力を発信できるような、観光や子育てなど、未来につながるような取組をしていかなければならないのかなと考えています。</p>
山端委員	<p>「⑤新たな広域的コミュニティ活動支援」の「6. その他提言等」の集落コミュニティと広域コミュニティについて。広域コミュニティと町内会との連携はどうか</p>

	<p>るのかという不安もあって、今後どうなるか気がかりです。町内会に力がなくなって、もっと大きくすると集落コミュニティが薄れていくのではないかと思います。人口減少の中でこうせざるを得ないというところもあって、非常に悩ましい大きな問題だろうなと思っています。</p>
升澤委員	<p>今、山端委員が指摘した、広域コミュニティができることによって単位町内会がどう関わるかということで、私もどうなるかという心配は当然あります。沖澤課長も来ているので、市としてはこうだということを聞きたいのですが。</p>
沖澤課長	<p>単位町内会が今 292 ありますが、広域コミュニティは、全ての単位町内会プラスPTAや地区の体育振興会や青少年健全育成協議会などの様々な団体が入って活動していく、大きな組織として考えています。今までの単位町内会の活動は必要ですが、もっと様々な団体を巻き込むことによって、いろんな地域課題を解決できるのではないかという考え方で、今進めているところであります。基本的には、広域コミュニティができることによって、単位町内会がなくなるということではなく、活動しやすいようにするために進めているということで、ご確認いただければと思っております。</p>
山端委員	<p>農協合併が進んだことによって、十和田ブランドから青森ブランドになっているように、地域特性が、だんだん薄れていっています。これと同じような状況になるのではないかという危惧があるのです。広くなれば広がるほど、集落コミュニティの価値観が失われていくのではないのかなと。その辺をいろいろ考えていかないと、ますます難しい状態になっていくのではないかと。</p>
企画財政部長	<p>自治体も定住自立圏という枠の中で、いろいろな広域的な活動を展開しています。まず、それぞれの自治体でフルセットの活動が出来なくなってきましたが、地域特性についてはしっかり引き上げながら、ある程度サポート・支援していく、自治体ができない穴を埋めていくというような作業を進めていく、これも単位町内会もしくはコミュニティと同じような活動になるかと思えます。当然、広域コミュニティができたから地域特性をなくする、ということではなく、それを引き上げるような活動を広域コミュニティがしていくというのが大切なのではないかと思っております。</p>
小林委員	<p>外部評価を担当させていただいて、十和田市でいろいろな事業をやっているんだなと自分の勉強になりました。農協の合併が話題に出ましたが、消費者間の多様な生産物を合併によってやるということで、うちの方は、ある程度の高品質・物量が必要だと、それでトムベジブランドという統一のブランドづくりをしています。それと地方の魅力もあるので地域ブランドも両方やっていくという多面性、その対応をしているということをご理解いただきたいと思えます。</p> <p>評価委員会に対して一言意見としましては、第1回目のときに外部評価事業をどう選ぶかという統一認識として私が理解したのは、十和田市の総合計画の中の基本目標7分野から選んでいくという認識だったので、産業振興・農業振興というテーマは非常に重要だなというふうに認識していましたので、候補を何点か出したのですが、選ばれなくて残念でした。</p>
櫻田委員	<p>今回の評価委員会でもた、新たな勉強ができたのかなと思っています。身近なテーマばかりで、ただ行政に押し付けるだけではなくて、私たちにも関連するテーマがあったので、それをどうするのかという気がかりな部分もありますが、</p>

	<p>我々が商業分野としてできるものがあれば、それなりにまた投げかけていただければキャッチボールできるのかなと思っております。大変勉強になりました。</p>
前田委員	<p>十和田に住んで1年ちょっとですが、十和田は、本当にイベントが多いところだと思っております。十和田湖畔を使ったり市街地を使ったり、毎週のようにイベントがあります。このパワーは、観光や産業に直結しているのではないかとこのあたりがありまして、宿泊客が増えたりと、今回冬季観光の充実という話がありましたが、去年の氷瀑を見ても魅力があります。このパワーを、実体のあるものというか「冬の十和田で遊ぼう」というぐらい発信していいのではと思います。</p> <p>広域コミュニティのところ、ある町内会の会長さんとお話をしたら、町内会長と言いながら、事務局、会計、段取りをほとんどひとりでやっているという話で、この時点で崩壊しそうだというのがありまして、町内会をしっかり助け、支えるというところから始まる話なのかなと思っておりました。広域がどういう役割を果たしていくのかということなのですが、町内会をしっかり守るということで、人づくりなんでしょうけれども、そこが必要だと思っています。</p>
鈴木委員	<p>私も十和田に住んで1年半くらいになりますけれども、前田委員が言ったように観光資源が沢山あって、全てが揃っていますが、それをPRしきれていないのが勿体ないと非常に感じています。先週テレビで十和田のまつりの番組をやっていましたけれども、よその市町村の方は、意外と知らない人も多いし、露店も数多く出て、青森県であれだけ露店が出ているのは1番かなと思い、もっともっと集客できるのかなというところがあります。</p> <p>あとは、我々は金融機関として回っていますが、今は高齢者が一人で住んでいるところが非常に多く、将来は老老介護だなとみんな言っており、危惧されると感じています。</p> <p>また、外部から来た転勤族の方が十和田に住むと、奥さんが土地も安く、気候も良く雪も少ないし、非常に住みやすいということで定住する方がいらっやいます。そういったところの資源も非常に恵まれているので、沢山PRしながら住みよいまちづくりをやってもらえればなと思っておりました。</p>
丸山委員	<p>私は初めて参加させていただいたんですけれども、これだけ多くの取組をしているんだと、改めて実感させられました。もっとPRをすれば、伸び代というか、全国に訴える、それによって活性化するという要素があると思っております。全国的に十和田湖は知っている人がいると思うんですが、秋田だと思っている方が結構います。この十和田湖や官庁街の美しい町並みをもっとPRして活性化につなげていただきたいと思います。</p>
原委員	<p>私も今回初めて参加させていただいたんですけれども、大変勉強になりました。ありがとうございました。DMOですとか広域コミュニティもそうなんですけれども、新しい取組を創生しているなというのを実感したところです。私の事務局にも十和田市からいろんなイベントの案内が届くんだけれども、市外県外のクリエイティブな活動をしている方との意見交換や交流の場を多くとられていて、既存の資源を活かしつつ、さらに新しいものを創造していこうという取組がすごくいいなと思います。それにプラス、市民の自発性というのがもっと出てくれば、かなり生きてくるのではないかなと思います。さらに、事業自体の持続可能性がどのくらいあるかということで、それぞれの細かい計画は、あると思うのです</p>

	<p>が、何か事業をやるうえで、計画そのものに不備があることも当然あるとは思いますが、その都度定期評価しながら最終的にその目指す姿に、より近づけるように、より確実にその成果が出るように、進めていただきたいなと思いました。</p>
坂本委員	<p>8事業以外も掘り下げたいと思いますが、私も深く調べたりして、事業自体は相当練られているものが多いんじゃないかなという印象を受けました。評価集計表は、相当ボリュームのある意見があるので、これを各部各課でじっくり読んでいただいて、第3者的な視点のものも今後の事業に反映させていただければなと思います。</p>
工藤委員	<p>今回選ばれた8つの事業というのは、いずれも十和田市の将来に向けて大事な事業だと思いますので、この事業が効果的になることを祈りつつ、私もこれからの取材でいい面があれば紹介して、十和田市の今後の発展に繋がればと思います。</p>
高井委員	<p>今皆さんのおっしゃったとおりで、特に事業の方向性与其他提言等を、それぞれの事業を担当されている部署でしっかり、ある意味では、それに対してどう応えるかという、本来であればそれがあると一番いいと思いますけれど、今回そこまで求めていませんけれども、今度何かやりますか。</p>
事務局	<p>次回、事務事業評価については、どのように評価・検証されていったかという部分については、お知らせすることになります。</p>
高井委員	<p>次回というのはいつ。</p>
事務局	<p>来年の事務事業評価の際に、前年度の事務事業評価がどう見直しにつながったかというのをお知らせします。</p>
高井委員	<p>ということだそうです。さらには、小林委員からのご指摘があった、もう少し基盤産業のところもしっかり入れていただいて、評価していくということで、よろしく願いいたします。</p>
4. その他	
	<p>特になし</p>
5. 閉会	
委員長	<p>それではこれで、全ての評価は終わったということで、皆様の意見を今後の取組に活かしていただくということをお願いして、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の方々からの評価については、市HPで公表いたします。 今回をもちまして今年度の十和田市外部評価委員会は全て終了となります。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございました。 これまでの評価作業を振り返って、ご意見やお気づきの点がございましたら次回以降の参考としますので、お気軽にご意見をいただきますようお願いいたします。 最後に、政策財政課長から御礼を申し上げます。</p>
政策財政課長	<p>政策財政課長の漆館でございます。高井委員長をはじめ、委員の皆様にはお忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございます。 外部評価委員会でいただいた各委員の評価につきましては、それぞれの事業担当課と調整を図り、今後の事業の参考として活かして参りたいと思っております。</p>

	<p>皆様には、市政の運営につきまして、今後も様々な形でご指導ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今の事務局の説明についてなにかご質問ご意見等ございますか。</p> <p>特になし</p> <p>それでは、以上で、今年度の外部評価は終了となります。</p> <p>最後になりますが、この度、委員長を仰せつかりまして、委員の皆様方にはご協力賜りまして、誠にありがとうございました。これで全日程を終了させていただきます。改めて、感謝を申し上げます、最後とさせていただきます。</p> <p>それではこれで閉会いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>10:38 閉会</p>